

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成 16 年 4 月に開設をし、同年 7 月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

期 間	委 託 金 額(注 1)	指定を受けた管理者
<第 1 期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第 2 期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第 3 期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第 4 期> 自 24. 4. 1 (予定) 至 29. 3. 31	59,832,000(注 2)	〃

(注 1) 委託金額は債務負担行為による金額。

(注 2) 平成 26 年度指定管理料は 11,870,000 円

消費税率及び地方消費税率の引き上げに伴う追加分 54,324 円及び電気料金値上による補填金 89,634 円を別途支出。

(2) 事業の内容

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、情報誌（「パーティ」年 4 回発行）等を活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・交流事業などを通して、さまざまな団体と結びつき、広く市民活動への理解を深めた。

開催日	内 容
26. 6. 28	東日本大震災復興支援チャリティーLIVE Vol.6
26. 7. 18	登録団体交流会（登録団体間の情報交換及び意見交換）
26. 7. 20	10 周年事業 ダンスワールド in 伊勢（舞台演技団体の発表の場提供と団体同士の交流、市民との触れ合い）
26. 7. 20	チャリティーコンサート第 15 回ミュージックコミュニケーション（東日本大震災復興支援チャリティーコンサート）

26. 8. 20～ 8. 24	伊勢志摩国際芸術祭 (小学生から大学生までの作品展示、発表等を通して芸術意識の向上及び交流)
26. 10. 25	「ご縁がいっぱい防災フェス」防災講演会&交流会
26. 10. 30	救急救命講習会(登録団体及び自治会参加による人命救急時の対応)
26. 12. 20	チャリティコンサート第16回ミュージックコミュニケーション (東日本大震災復興支援チャリティーコンサート)
27. 1. 17	東日本大震災復興支援チャリティーLIVE Vol.7
27. 3. 21	第5回いせ市民活動フェスティバル (登録団体及び次世代、市民との交流)

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタルPC（センター内の利用に限る）を設置。また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。同時に、市民活動支援パソコン講習会等も開催した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理
(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1 Fホール			
21. 4. 1 ～ 22. 3. 31	% 39.3	% 42.0	% 45.5	% 24.7	人 42,273	% 26.7	人 15,963
22. 4. 1 ～ 23. 3. 31	37.0	47.5	60.1	29.5	42,450	24.3	19,012
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	36.0	42.9	50.3	31.1	44,131	26.1	19,288
24. 4. 1 ～ 25. 3. 31	34.2	41.2	47.3	28.3	43,737	24.9	14,778
25. 4. 1 ～ 26. 3. 31	41.7	45.1	52.0	29.2	47,116	22.6	15,351
26. 4. 1 ～ 27. 3. 31	38.5	47.1	57.1	32.7	48,841	25.1	16,785

※平均稼働率・・・稼働実績時間数 / (稼働可能時間(11時間) × 稼働可能日数) × 100

(登録団体数)

基準日	登録団体数
22. 3. 31	143
23. 3. 31	156
24. 3. 31	153
25. 3. 31	162
26. 3. 31	174
27. 3. 31	185

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として継続的に活動ができるよう、その経費の一部を補助した。

平成 26 年 5 月 18 日に申請団体のプレゼンテーションによる審査会を開催し、交付団体を決定した(申請 6 団体、交付決定 5 団体のうち 1 団体決定取消し)。審査員には民間及び学識経験者から 5 名、県職員 1 名を委嘱した。

なお、補助金は補助対象経費の 10 分の 8 以内、10 万円を上限額として交付した。

○対象事業

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等を内容とする活動

○平成 26 年度交付団体 (4 団体)

団体名	事業名	交付額
俳祖守武翁顕彰会	第 60 回守武祭記念俳句大会	円 100,000
西行展実行委員会	西行法師にまつわる遺物の展示と勉強会・講演会・シンポジウム及び観光施設に常設する西行解説パネルの製作	100,000
福祉自助具推進の会	福祉自助具の研修と製作	100,000
伊勢市南部地区民生委員児童委員協議会	広報紙「絆」	100,000
合計		400,000

3 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的に開催している。

平成 26 年度は 71 団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

10 月 11 日（土）、12 日（日）の 2 日間で開催する予定だったが、台風の接近に伴い、2 日目の開催を中止することとなった。

11 日（土）は幼稚園児によるマーチング、小学生の鼓笛、みこしや太鼓などのパレードが、イベント広場ではよさこいソーラン、フラダンス、ヒップホップ、マジックなどのパフォーマンスが、会場一帯で地場製品の展示、販売など数多くの出展・出店があり、賑やかな秋の伊勢を創出した。

- ・開催日 平成 26 年 10 月 11 日（土）10：00～21：00
※12 日（日）は台風接近に伴い中止
- ・会場 高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線（尼辻交差点）～伊勢市駅周辺
- ・参加団体数 121 団体（約 3,900 人）
- ・来場者数 約 7 万人

4 伊勢市矢持会館管理事業

平成 21 年 4 月 1 日から休止していた農林漁業体験実習館を、平成 23 年 4 月 1 日から名称変更をし、集会施設として運営している。

- (1) 指定管理者 矢持町下村区
- (2) 委託金額 250,000 円（指定管理料）
消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う追加分 7,143 円を別途支出。
- (3) 利用者数 2,134 人

5 地区連絡員事業

行政運営を円滑に、かつより効果的に行うため、市内に地区連絡員（178 人）を配置し、行政情報等の伝達を行った。

- (1) 市の広報紙等の配付（月 2 回）
- (2) その他市長が特に必要と認める職務
平成 26 年 3 月 31 日現在の世帯数で報酬額を算定
最多世帯数 一之木地区 1,317 世帯 最少世帯数 峰団地 11 世帯
平均世帯数 約 301 世帯（報酬総額 102,899,200 円）

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。

コミュニティセンター使用状況

(1) 豊浜地区コミュニティセンター (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
48	20	68	922	79	133

(2) 城田地区コミュニティセンター (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
104	74	178	3,003	272	799

(3) 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

会議室利用状況					図書室利用状況	
会議室	生活研修室	営農相談室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	件	人	人	冊
86	51	0	137	2,265	282	866

(4) 神社地区コミュニティセンター (みなとデイサービスセンターに併設)

(H26. 4. 1～H27. 3. 31)

図書室利用状況	
貸出人数	貸出冊数
人	冊
494	1,384

(5) 北浜地区コミュニティセンター (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
95	31	126	2,365	342	1,212

(6) 浜郷地区コミュニティセンター (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
128	15	143	1,994	582	1,340

(7) 宮本地区コミュニティセンター (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
149	142	291	3,311	384	1,298

(8) 大湊地区コミュニティセンター (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
49 件	53 件	102 件	1,445 人	505 人	1,034 冊

○ 国際交流推進事業関係

1 国際交流推進事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した技能実習生対象の説明会を開催 (10 回)

イ 外国人のための生活ガイドの配布

伊勢市で生活する外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」(日本語版、中国語版、英語版)を随時配布した。

ウ 「外国人をサポートするための避難所運営訓練」等の開催

三重県国際交流財団に委託し、災害発生時の外国人住民への情報提供や避難所運営に関する実践的な訓練や外国人住民を対象とした避難所説明会を行った。

○外国人住民を対象とした避難所説明会

- ・日時 平成 26 年 11 月 23 日 (日) 13 : 00～16 : 00
- ・場所 伊勢市立明野小学校体育館
- ・参加人数 96 人 (中国 67 人、ブラジル 12 人、ミャンマー 6 人、シンガポール 1 人、ベトナム 1 人、日本 9 人)

○避難所運営訓練

- ・日時 平成 27 年 1 月 31 日 (土) 11 : 00～15 : 30
- ・場所 伊勢市小俣総合体育館
- ・参加人数 56 人 (うち外国人 19 人)

エ 防災ガイド等の外国人全世帯への配布

防災ガイド (中国語、英語、ポルトガル語、韓国語、スペイン語) 等を市内在住外国人全世帯 (特別永住者を除く) 678 世帯へ配布した。

オ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び 11 市町のメンバーにより開催され、計 8 回参加した。

(2) 国際交流関係

ア 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際化に関する事業を推進している。

- 主な事業
- ・外国人住民のための日本語教室
 - ・国際理解講座
 - ・ホームステイ
 - ・世界の文化の紹介イベント
 - ・伊勢市駅前ボランティアタウンガイド
 - ・会報誌の発行 等

平成 27 年 3 月末会員数 個人会員 136 名、団体会員 6 団体、企業会員 2 企業

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア推進事業

市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンター（以下、「センター」という）に関して、有事の際に円滑な運営ができるよう、関係団体との連携や新たな人材を育成するための取り組みや、センターの運営訓練等を行った（市社会福祉協議会への負担金により実施）。また、平成 26 年 6 月からは常設型のセンターとして開設している。

(1) センター運営マニュアルの見直し

センターが常設型となったことに伴い、運営マニュアルを改正した。

(2) センター関係行事の実施

ア 関係団体との連絡会

- ・開催日 平成 26 年 8 月 29 日（金）10：00～11：45
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2 階 保健会議室
- ・参加人数 22 名

イ 災害ボランティアコーディネーター養成講座（平成 25 年度）修了者連絡会

- ・開催日 平成 26 年 10 月 22 日（水）19：00～20：30
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2 階 保健会議室
- ・参加人数 26 名

ウ 災害支援活動（ボランティアバス運行）

- ・実施日 平成 26 年 9 月 3 日（水）、4 日（木）両日とも 5：00～21：00
- ・場所 兵庫県丹波市市島町大杉地区
- ・参加人数 40 名
- ・その他 いせ市民活動センターとの共同事業

エ 災害ボランティアコーディネーター養成講座

- ・開催日と受講者数
 - 第1回 平成26年11月15日(土) 10:30~12:30 13名
 - 第2回 平成26年11月15日(土) 13:30~15:30 18名
 - 第3回 平成26年11月30日(日) 10:30~12:30 12名
 - 第4回 平成26年12月14日(日) 10:30~12:30 13名
 - 第5回 平成26年12月14日(日) 13:30~15:30 13名

- ・修了者人数 12名

- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室

オ 運営訓練

- ・開催日 平成27年1月17日(土) 11:00~16:00
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・参加人数 85名

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」紙面を活用し、公募市民3人の企画編集による啓発記事「めぞそや！共同参画」を年4回掲載した。

発行日	内容
5月15日号	①コミュニケーション伝わらなければ、意味がない ②企業にとって、ワーク・ライフ・バランスは、プラス？マイナス？
8月15日号	①それぞれの家庭にそれぞれの幸せが ②相手の気持ち、聞いてみよう！
11月15日号	①知らず知らずのうちにDV被害者・DV加害者に ②彼・彼女はあなたのモノじゃないよ！
2月15日号	①男だから・女だから・・・そんなの関係ない！ ②子どもたちの可能性を狭めていませんか？

2 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第2次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取り組みを行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画を推進するために、三重県内の男女共同参画センター5館と23市町が連携し、映画祭を開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日	開催場所	内容	参加人数
26. 6. 15	伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール	映画「麦子さんと」上映	303人

(2) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する日として条例で定めた「パートナーの日(8月17日)」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

①啓発品配布

実施日	実施場所	配布数(個)	内容
26. 8. 17	ミタス伊勢	500	啓発用ウェットティッシュ、 ポケットティッシュ、 メッセージカード、 チラシ等の配布
	ぎゅーとら神田久志本店	250	
	ぎゅーとらハイジー店	250	
	ぎゅーとら藤里店	250	
	ぎゅーとら小俣店	200	
	ベリー小俣店	200	

②講演会の開催

開催日	開催場所	内容	参加人数
26. 7. 6	伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール	「エプロンはずして夢の山」 講師 田部井 淳子 氏	290人

(3) 伊勢まつりにおける啓発

市民に広く男女共同参画を啓発するため、伊勢まつりに出展し啓発を行った。

開催日	内容
26. 10. 11	パネル展示、チラシ・啓発物品などの配布、アンケート など

(4) れいんぼうフェスタの開催

父親の子育てへの参加促進と親子がふれあう機会を提供するため、れいんぼうフェスタを開催した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
26. 10. 19	宮川ラブリバー公園	木工作り、昼食(手巻き寿司)作り、	26組
		ウォークラリー、コンクールなど	95人

(5) 縁結び応援事業の開催

男女の出会いの場を提供すると共に、家庭生活における男女共同参画推進やお互いを思いやる意識を醸成するため、独身男女を対象にした縁結び応援事業を開催した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
26. 11. 1	いせトピア	①自己紹介、②料理教室、③恋活力UPセミナー&ゲーム、④フリートーク	34人

(6) 男性向け啓発事業の開催

男性の育児や家事への参加を促進すると共に、男女共同参画を啓発するためパパ(じいじ)と子どものケーキ作り教室を開催した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
27. 3. 7	いせトピア調理室	パパ(じいじ)と作ろう!ママも喜ぶデコレーションケーキ	18組 37人

(7) れいんぼうカフェの開催

だれもが生きやすい社会づくりのため、気軽に立ち寄り、悩みを話したり共有したりできる居場所づくりに取り組んだ。

開催日	開催場所	内容	参加人数
26. 5. 26	御菌公民館 講堂	市長と話そう!	人 30
26. 9. 21	いせトピア 研修室	「かみさまとのやくそく」上映会	92
26. 12. 14	れいんぼうルーム	「性」についてお話ししましょう	5
27. 2. 14		「いせ人権フェスタ on バレンタイン」	66

3 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

	開催日	内容	出席委員
第1回	26. 7. 23	①平成25年度事業実施状況について ②年次報告書について ③今後のスケジュールについて	人 15/15
第2回	26. 10. 31	①平成25年度事業実施状況報告書(案)について ②平成26年度実施事業について ③DVD「安心できる避難所づくり～男女共同参画の視点を避難所運営に～」視聴	12/15

4 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を行った。また、企業向けの研修講座を開催した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内容
26. 12. 3	「男女がいきいきと働いている企業」登録企業ほか 計 18 社	・働きやすい職場づくり、休暇制度の充実・利用促進等の啓発 ・国、県の制度の紹介 ・市の取組み(研修講座等)の案内

(2) 企業対象研修講座

開催日	会場	内容	参加人数
27. 1. 21	伊勢商工会議所 中ホール	～イクボスでより質の高い経営に～ イクボス＝部下のWLB×職責OK×自分のWLB 講師 川島 高之 氏	人 37
27. 2. 6	伊勢商工会議所 中ホール	ワーク・ライフ・バランスセミナー 仕事と介護の両立に向けて ～大介護時代に備えて、いま職場でできることは～ 講師 菅原 幸子 氏	28

5 ライフステージバックアップ事業

少子化対策の一環として、結婚や家族を持つことの意義に加え、ライフステージを意識した働き方、生き方、などを考えるきっかけとなるようワールドカフェや講演会及びパネルディスカッションを開催した。

(1) ワールドカフェ（開催場所：三重県伊勢庁舎 401 会議室）

	開催日	内容	参加人数
第 1 回	27. 1. 25	【第 1 ラウンド】 結婚！身近なものとして考えたい…ちょっと不安も… ～モヤモヤトーク	人 28
第 2 回	27. 1. 27	【第 2 ラウンド】 結婚！こんな社会…いろいろサポート…～人生ワクワク設計へ	29
第 3 回	27. 2. 22	【第 1 ラウンド】 結婚へのスイッチ。ワールドカフェ、シンポジウムへ参加して一発見したこと、考えたことー 【第 2 ラウンド】 結婚へのスイッチ。一緒に！伊勢市への提言をつくる 【市長へ提言書提出】	13

(2) シンポジウム（開催場所：皇學館大学 4 号館 431 教室）

開催日	内容	参加人数
27. 2. 8	【基調講演】 「結婚」のいま～今どき花嫁にみる変化とこれから～ 講師 伊藤 綾 氏 【パネル・ディスカッション】 「わたしのライフステージ！伊勢市発信、切れ目ない支援とは？」	人 98

(3) 実行委員会開催経過

	開催日	内容	出席人数
第 1 回	26. 11. 7	趣旨説明、委員委嘱と紹介、役員選任 など	人 10/10
第 2 回	26. 11. 25	結婚に向けた情報提供事業の企画全体の概略など	10/10
第 3 回	27. 1. 13	各取組みの詳細と役割分担 など	10/10
第 4 回	27. 3. 19	事業の振り返り、報告書 など	8/10

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 173 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。
（報償費総額 7,290,000 円）

2 振興助成金事業

市内 173 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	50	19,261	円 2,500,000	円 6,741,350	円 9,241,350
支所管内	71	19,678	3,550,000	6,887,300	10,437,300
二見総合支所管内	10	3,361	500,000	1,176,350	1,676,350
小俣総合支所管内	28	7,663	1,400,000	2,682,050	4,082,050
御菌総合支所管内	14	3,660	700,000	1,281,000	1,981,000
合計	173	53,623	8,650,000	18,768,050	27,418,050

3 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して、補助した。

補助金は、対象事業費に対して3分の2を乗じた額か、世帯割に応じて積算された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

- ①地域に根ざした伝統文化の継承事業 21件
 - ②地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業 10件
 - ③地域内の清掃美化等の環境保全事業 87件
 - ④補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業 9件
 - ⑤訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業 17件
 - ⑥少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業 15件
 - ⑦住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業 126件
 - ⑧その他市長が特に必要と認める事業 0件
- ・平成26年度対象自治会 173自治会
- ①交付申請・決定 9,121,000円 (150自治会)
 - ②交付確定 8,913,000円 (150自治会)

4 コミュニティ助成事業

(財)自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業であり、コミュニティ活動の健全育成を図り、宝くじの社会貢献広報に資するため、コミュニティ組織である自治会にコミュニティ事業補助金を交付した。

交付決定自治会 3自治会

交付決定額 5,200,000円

自治会名	補助金額	事業名
神菌町自治会	円 2,300,000	農村公園の遊具の整備
村松町会	1,200,000	放送設備の整備
常磐西世古町内会	1,700,000	視聴覚機器の整備
計	5,200,000	

5 自治会コミュニティ放送設備整備補助事業

地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。

交付決定自治会 29 自治会

交付決定額 45,991,000 円

自治会名	補助金額	事業名
東豊浜町西条自治会	円 1,340,000	拡声放送設備整備事業
森区自治会	31,000	拡声放送設備整備事業
柏町会	155,000	拡声放送設備整備事業
竹ヶ鼻町自治会	1,764,000	拡声放送設備整備事業
大倉うぐいす台自治会	1,324,000	拡声放送設備整備事業
昭和苑自治会	191,000	拡声放送設備整備事業
一字田町	392,000	拡声放送設備整備事業
津村町自治会	47,000	拡声放送設備整備事業
下野町自治区	81,000	拡声放送設備整備事業
上條区自治会	341,000	拡声放送設備整備事業
上長屋区	662,000	拡声放送設備整備事業
小計	6,328,000	拡声放送設備整備事業実施 11 自治会
宮前自治区	4,924,000	戸別受信機放送設備整備事業
栄町自治会	4,149,000	戸別受信機放送設備整備事業
大久保自治区	6,966,000	戸別受信機放送設備整備事業
山田原区	3,658,000	戸別受信機放送設備整備事業
三津区	5,681,000	戸別受信機放送設備整備事業
溝口区	7,768,000	戸別受信機放送設備整備事業
江区	4,062,000	戸別受信機放送設備整備事業
下小俣自治会	117,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
湯田自治区	133,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
松倉自治区	115,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
中小俣自治区	230,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
六軒屋自治会	92,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
今一色区自治会	267,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
掛橋自治区	28,000	【落雷故障部品交換】戸別受信機放送設備整備事業
小計	38,190,000	戸別受信機放送設備整備事業実施 14 自治会
西本町自治区	796,000	メール配信設備整備事業
明野第一・第二自治区	60,000	【追加】メール配信設備整備事業
明野第4自治区	556,000	【追加】メール配信設備整備事業

明野第三自治区	円 61,000	【追加】メール配信設備整備事業
小計	1,473,000	メール配信設備整備事業実施 4自治会
合計	45,991,000	

6 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動しており、その事業活動を支援するため補助金を交付した。(補助金 1,513,500円)

7 認可地縁団体等関係

地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成26年度 地縁団体認可団体数 2団体（累計認可団体数76団体）

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、市役所と地域とのパイプ役として各小学校区に配置した「地区担当職員」が地域で懇談会等を行い、地域自治組織である「地区みらい会議」の設立を進めるとともに、取り組みに対する地域住民の理解促進を図った。

また、市民の自治意識啓発のための講演会や条例施行後の新たな制度に関する説明会等を開催した。

(1) 「地区みらい会議」設立状況【24小学校区(23地区) / 24小学校区】

名称	小学校区	設立年月日
厚生地区まちづくりの会	厚生	20. 6. 15
小俣まちづくり協議会	小俣・明野	21. 9. 4
沼木まちづくり協議会	上野	22. 4. 16
明倫地区まちづくり協議会	明倫	24. 4. 1
神社地区まちづくり協議会	神社	24. 5. 29
修道まちづくり会	修道	24. 6. 16
佐八学区まちづくりの会	佐八	24. 11. 1
大湊町未来づくり委員会	大湊	24. 11. 22
四郷地区まちづくり協議会	四郷	24. 12. 19
高城まちづくりの会	今一色	25. 2. 17
進修まちづくりの会	進修	25. 2. 24

浜郷地区まちづくり協議会	浜郷	25. 2. 25
中島学区まちづくり協議会	中島	25. 2. 27
城田地区まちづくり協議会	城田	26. 1. 24
豊浜東まちづくり協議会	豊浜東	26. 2. 19
豊西まちづくりの会	豊浜西	26. 2. 20
二見まちづくりの会	二見	26. 3. 1
北浜まちづくり会議	北浜	26. 3. 23
御菌まちづくり協議会	御菌	26. 5. 12
東大淀地区まちづくり協議会	東大淀	26. 5. 29
宮山まちづくりの会	宮山	26. 6. 15
有緝まちづくり協議会	有緝	26. 11. 29
早修ふるさと未来NAV I	早修	26. 12. 15

(2) 「地区担当職員」によるまちづくり支援

市と地域とのパイプ役として各小学校区に配置された市職員（地区担当職員）が行政情報の提供及び地区情報の収集を行うとともに、「地区みらい会議」の設立に向けて地域自らのまちづくりを支援した。

また、各地区の取り組み状況の把握と情報交換、相互調整を行うため、各地区の班長で組織した「地区担当者会議」を開催した。

ア 地区担当職員数

部課長級職員 78 人

（内訳：修道、有緝、厚生、早修、二見、御菌学区は各 4 人、小俣・明野学区は 6 人、その他学区は各 3 人）

イ 地区担当者会議

開催日 平成 26 年 10 月 29 日（水）

内 容 ・平成 27 年度本格稼働に向けての取り組みについて
 ・各地区の取組み状況等
 ・その他

(3) 広報活動

「広報いせ」でシリーズ「わたしたちの地域だから、わたしたちでやりたいことがある」を隔月連載することにより市民への制度周知を図った。また、ケーブルテレビ行政番組でも「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(4) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり協議会の連絡会議」の開催

伊勢市ふるさと未来づくり条例施行を控え、協働・地域自治の必要性についての理解を更

に深めるための講義及び各地区みらい会議の情報交換を行った。

- 開催日 平成 27 年 2 月 28 日（土）
- 開催場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- 講師 四日市大学副学長 総合政策学部 岩崎恭典 教授
- 参加者 地区みらい会議関係者 73 人、地区担当職員 24 人

イ 「ふるさと未来づくり資金についての事務説明会」の開催

条例施行後の新たな制度に基づく事務手続きについて、説明会を開催した。

- 開催日 平成 27 年 3 月 6 日（金）・ 3 月 12 日（木）
- 開催場所 市役所東庁舎 4－3 会議室
- 参加者 地区みらい会議事務局長等

ウ 「地域主体の新たなまちづくり講演会」の開催

新たな住民自治の仕組みづくりとしての「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深め、市全体の気運の醸成を図るため講演会を開催した。

- 開催日 平成 27 年 3 月 17 日（火）
- 開催場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- 講演 「みんなで進める地域づくり ～あなたの幸せ、地域の幸せ～」
- 講師 松本大学地域づくり考房「ゆめ」専任講師 福島 明美 氏
- 参加者 一般市民、地区みらい会議・自治会関係者、各種団体、職員等

(5) 「地区みらい会議」への財政支援

「地区みらい会議」が実施する事務事業の財源として、「地区みらい会議」に対し、ふるさと未来づくり支援補助金を交付した。

・補助金の内容

補助対象経費	補助金額
事務運営費	2,400,000 円
家賃等補助加算額	賃借料相当額（上限 600,000 円）
活動事業費	1,000,000 円

・交付件数：23 件

(6) 工事関係

公共施設の有効利用の観点から、教育委員会所管の公共施設に地区みらい会議事務所の整備を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町 地内	(注) 旧豊浜東幼稚園 園空調機ほか 改修工事	1. 機械設備工事 ・空調設備工事 一式 ・衛生設備工事 一式 2. 建築改修工事 一式 3. 電気設備工事 一式	円 3,672,000	26. 7. 25	26. 9. 5

船江1丁目 地内	船江会館改修 工事	1. 建築工事 一式	円 1,285,200	26.12.1	26.12.25
		2. 電気設備工事 一式			
		3. 機械設備工事 一式			
計	2件	—	4,957,200	—	—

(注) 建築住宅課施行

(7) ふるさと未来づくり条例の制定

平成27年度からの全市一斉の制度導入に向け、新たな地域自治の仕組みとしてふるさと未来づくり制度を構築するため、平成26年12月に、ふるさと未来づくりの推進について基本理念等を定めたふるさと未来づくり条例を制定した。

なお、制定にあたっては、伊勢市ふるさと未来づくり条例（仮称）策定に係る調整会議を開催して意見を聴取するとともに、条例（骨子案）におけるパブリック・コメントを実施した。

ア 伊勢市ふるさと未来づくり条例（仮称）策定調整会議

委員 学識経験者2名、各地区みらい会議から選出された者

開催日 第3回 平成26年4月21日

第4回 平成26年6月2日

第5回 平成26年7月9日

第6回 平成26年10月29日

イ パブリック・コメント

期間 平成26年9月8日～10月8日

結果 意見数6件24項目

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた事故に対し、傷害事故や賠償責任事故を補償する制度を平成23年度より導入している。

名称 「市民活動補償制度費用保険契約」

保険期間 平成26年6月1日午後4時から平成27年6月1日午後4時まで

契約額 2,231,470円

適用件数 15件（傷害補償14件、賠償責任補償1件）

○ 合併調整関係

1 地域審議会

地域審議会委員の第4期の任期が、平成26年6月30日で満了となったことから、「広報いせ（5月15日号）」及び市ホームページにより第5期地域審議会委員の公募を行った。

戸 籍 住 民 課

○ 戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	53,625 世帯	509 世帯	199 世帯	54,333 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口（平成 27 年 3 月 31 日現在）

区 分		日本人	外国人	合 計
人 口	男	61,409 人	322 人	61,731 人
	女	68,064	543	68,607
	計	129,473	865	130,338

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況

区 分		件 数
届 出	転 入	2,729 件
	転 出	3,294
	転 居	2,173
	世 帯 変 更	1,278
	そ の 他	31
職 権	出 生	954
	死 亡	1,499
	職 権 消 除	8
	修 正	2,017
計		13,983

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口（平成 27 年 3 月 31 日現在）

戸 籍 数	62,039 戸籍
本 籍 人 口	150,638 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届出	他市町村からの送付	合計
出生	753 件	445 件	1,198 件
婚姻	529	839	1,368
離婚	166	144	310
死亡・失踪	1,267	321	1,588
養子縁組	76	46	122
養子離縁	27	11	38
国籍の得喪・留保	2	12	14
本籍表示の変更	223	264	487
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	262	119	381
上記以外で身分に変更が生じるもの	21	17	38
訂正・追完	82	12	94
不受理申出	23	10	33
その他	1	5	6
計	3,432	2,245	5,677

(3) 戸籍事務処理状況

区分	件数
新戸籍編製	822 件
戸籍全部消除	971
通知違反	6
その他	1
計	1,800

(4) 人口動態調査票作成状況

区分	計
出生	1,016 件
死亡	1,525
死産	17
婚姻	622
離婚	197
合計	3,377

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,526 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区分	大人	小人	胎児	合計
埋火葬	1,142 件	2 件	16 件	1,160 件

(7) 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	262 件
民事関係通知	29
身元事項照会	2,700
計	2,991

(注) 伊勢市総数

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収入金額	
住 民 票 の 写 し	本庁	32,113 件 (5,081)	4,611 件	36,724 件 (5,081)	6,422,600 円	
	支所	10,111	16	10,127	2,022,200	
広域交付住民票の写し	本庁	46	0	46	9,200	
	支所	7	0	7	1,400	
戸籍の附票の写し	本庁	2,000	4,576	6,576	400,000	
	支所	374	1	375	74,800	
住民票記載事項証明	本庁	925	51	976	185,000	
	支所	351	10	361	70,200	
住民基本台帳カード	本庁	392	28	420	196,000	
	支所	0	0	0	0	
住民基本台帳閲覧	本庁	148	0	148	29,600	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	20,481 (8,087)	65	20,546 (8,087)	4,096,200	
	支所	8,766	53	8,819	1,753,200	
諸証明	身 分 証 明	本庁	734	0	734	146,800
		支所	157	0	157	31,400
	そ の 他	本庁	283	60	343	56,600
		支所	61	0	61	12,200
合 計	本庁	57,122 (13,168)	9,391	66,513 (13,168)	11,542,000	
	支所	19,827	80	19,907	3,965,400	
	計	76,949 (13,168)	9,471	86,420 (13,168)	15,507,400	

(注1) () は自動交付機による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件

住民基本台帳の閲覧団体数 20 団体

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分		件		数	収入金額	
		有 料	無 料	計		
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,874 件	4,083 件	14,957 件	4,893,300 円
		支所	2,719	1	2,720	1,223,550
	個人事項 (抄 本)	本庁	3,361	277	3,638	1,512,450
		支所	1,292	1	1,293	581,400
	一部事項	本庁	7	3	10	2,450
		支所	0	1	1	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	2	0	2	700
	計	本庁	14,242	4,363	18,605	6,408,200
		支所	4,013	3	4,016	1,805,650
計		18,255	4,366	22,621	8,213,850	
除 籍 改製原戸籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,563	6,572	17,135	7,922,250
		支所	1,993	5	1,998	1,494,750
	個人事項 (抄 本)	本庁	52	45	97	39,000
		支所	13	0	13	9,750
	一部事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	10,615	6,617	17,232	7,961,250
		支所	2,006	5	2,011	1,504,500
計		12,621	6,622	19,243	9,465,750	
受 理 証 明 等	本庁	201 (1)	0	201 (1)	71,400 (1,400)	
	支所	9 (2)	0	9 (2)	5,250 (2,800)	
届書記載事項証明	本庁	59	3	62	20,650	
	支所	4	0	4	1,400	
閲覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
合計	本庁	25,117 (1)	10,983	36,100 (1)	14,461,500 (1,400)	
	支所	6,032 (2)	8	6,040 (2)	3,316,800 (2,800)	
	計	31,149 (3)	10,991	42,140 (3)	17,778,300 (4,200)	

(注) () は、特別受理証明書(上質紙使用)の内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	(8,770)件	(4,623)件	908 件	23,839 件
住 民 票 関 係 証 明	(5,090)	(4,105)		
諸証明関係(身分証明等)	(338)	(5)		
計	(14,198)	(8,733)		

(注) () は「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) 電子証明書の状況

有 料	無 料	計	金 額
382 件	3 件	385 件	191,000 円

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数(平成27年3月31日現在) 87,592件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分	件 数
増	登 録 4,312 件
	そ の 他 2
	計 4,314
減	廃 止 321
	亡 失 1,561
	死 亡 1,349
	転 出 1,245
	そ の 他 215
	計 4,691

5 支援措置関係

(1) 住民基本台帳事務における支援措置者数(平成27年3月31日現在)

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票発行抑止及び戸籍の附票発行抑止を行った。

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	32 人	41 人	73 人
他市からの支援要請	27	35	62
計	59	76	135

6 特別永住者関係

(1) 特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付（交 換 希 望）	0 件
証 交 付（法 施 行 前 未 取 得）	0	再 交 付（紛 失）	2
証 交 付（切 替）	30	有 効 期 間 更 新	1
再 交 付（汚 損 等）	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

住 居	事 務 所	事 業 所 等	計
81 件	0 件	5 件	86 件

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、懸垂幕掲示、ホームページ、広報いせ、文字放送を通じての広報など、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から 20 名（陸上自衛隊 15 名、航空自衛隊 3 名、海上自衛隊 2 名）の入隊者があった。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

当該業務の安定した市民サービスを提供するため、また、民間事業者の技術と創意工夫を活用することにより一層の快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

(1) 業務内容

- ・ 証明書交付請求の受付
- ・ 証明書の発行・交付
- ・ 戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等）の受付・入力業務
- ・ 住民異動届の受付・入力業務 等

(2) 履行期間 平成 27 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日（3 年間）

（契約締結日 平成 26 年 7 月 31 日）

(3) 契約金額 159,192,000 円（税抜額）

（うち平成 26 年度分 13,266,000 円）

(4) 委託業者 アール・オー・エス中部株式会社（名古屋市名東区豊が丘 501）

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸 籍	(1, 124) 646, 100	(490) 264, 400	(774) 417, 500	(473) 260, 850	(852) 466, 900
住民基本台帳 関 係	(1, 546) 309, 000	(851) 170, 200	(2, 118) 423, 200	(1, 032) 205, 200	(1, 282) 256, 400
印 鑑 証 明	(1, 107) 221, 000	(752) 150, 200	(1, 388) 274, 600	(891) 177, 600	(1, 162) 229, 400
諸 証 明	(42) 8, 400	(16) 3, 200	(29) 5, 800	(22) 4, 400	(21) 4, 200
計	(3, 819) 1, 184, 500	(2, 109) 588, 000	(4, 309) 1, 121, 100	(2, 418) 648, 050	(3, 317) 956, 900

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	合 計
戸 籍	(774) 418, 700	(775) 422, 550	(543) 291, 950	(235) 127, 850	(6, 040) 3, 316, 800
住民基本台帳 関 係	(1, 335) 266, 600	(1, 421) 281, 000	(873) 174, 600	(412) 82, 400	(10, 870) 2, 168, 600
印 鑑 証 明	(1, 283) 256, 400	(1, 031) 205, 400	(747) 147, 600	(458) 91, 000	(8, 819) 1, 753, 200
諸 証 明	(23) 4, 600	(35) 7, 000	(26) 5, 200	(4) 800	(218) 43, 600
計	(3, 415) 946, 300	(3, 262) 915, 950	(2, 189) 619, 350	(1, 109) 302, 050	(25, 947) 7, 282, 200

(注1) 戸籍住民係中の3証明関係「(1)住民票関係の交付等の状況」及び「(2)戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(注2) 上段は件数(件)、下段は金額(円)

(2) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
26. 5. 9	第1回幹事会	総会への提出議案等協議 (人権尊重啓発ポスター・標語募集要領、人権セミナー、総会時講演会等) 場 所 市役所本館2-1会議室	
6. 3	総会	平成25年度事業報告・決算報告、 平成26年度事業計画(案)・予算(案)の承認 総会后講演会 演 題 「障がい者の雇用と人権」 講 師 酒徳 和夫 さん (株式会社トモ 営業本部総務部長) 場 所 市役所東庁舎4-3会議室	
7. 9	第1回 人権セミナー	演 題 「障害者の雇用と人権について」 講 師 建部 久美子 さん (皇學館大学現代日本社会学部教授) 場 所 ハートプラザみその 保健会議室	参加者33名
8. 1 ~12. 24	人権尊重啓発 ポスター 標語募集事業	ポスター募集事業： 市内小中学校児童生徒から487点の応募 10月8日、27日ポスター審査 (市長賞9点、会長賞50点、奨励賞50点選出) 標語募集事業： 市内に在住または通勤通学する15歳以上の方 (中学生を除く)から9点の応募 10月22日委員会において標語審査 (市長賞1点、会長賞2点選出) 11月27日~12月2日まで イオン伊勢店にて展示 12月10日~12月13日まで いせトピアにて展示 12月13日 いせトピアにおいて表彰 12月18日~12月24日まで 小俣図書館にて展示	広報いせ7. 15号 にて公募
9. 4	第2回 人権セミナー	演 題 「外国人労働者の現況」 講 師 和田 京子 さん (NPO法人伊賀の伝丸代表理事) 場 所 ハートプラザみその 保健会議室	参加者33名

10.22	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場 所 市役所東庁舎4-3会議室	
11.11 ～11.25	人権啓発パネル 展	11月11日～11月18日まで市役所本館 市民ホール・二見総合支所にて開催 11月19日～11月25日まで小俣総合支所・ 御菌総合支所にて開催	
11.11 ～12.10	人権強調月間	市役所本庁舎・小俣総合支所に懸垂幕の掲示 市役所本庁舎・各総合支所にのぼり旗の掲示	
11.14	第3回 人権セミナー	演 題 「働く場における女性の人権について」 講 師 上野 文枝 さん (皇學館大学現代日本社会学部助教) 場 所 ハートプラザみその 保健会議室	参加者25名
11.24 ～12.9	人権週間催し 告知等	広報いせ、伊勢市ホームページへの掲載 文字放送、行政チャンネル放送にて催しの告知	
12.4	街頭啓発	12月4日～10日までの人権週間にあわせ、市民の 人権尊重の意識高揚を目的に、伊勢市人権施策推 進協議会委員による啓発冊子・物品の配布による 啓発活動を実施 場 所 ぎゅーとら（S Cハイジー・小俣店）、 イオン伊勢店、 イオンタウン伊勢ララパーク、 みそのショッピングセンター、 バローミタス伊勢店、 ホームセンターバロー伊勢店、 プライスカット伊勢二見店	参加者41名 配布数1,124個
12.13	人権講演会	トークショー「愛・平和・パッチギ！」 講 師 井筒 和幸 さん（映画監督） 中野 涼子 さん（D J・司会者） 場 所 いせトピア 多目的ホール	参加者270名
1.29	第4回 人権セミナー	演 題 「性別って2つだけ？～のぞむ性別で働きたい～」 講 師 山口 颯一 さん（L R L代表） 場 所 ハートプラザみその 保健会議室	参加者28名
3.23	第2回幹事会	委員会への提出案件協議 平成26年度事業（見込）及び決算（見込）報告 平成27年度事業計画（案）及び予算（案） 場 所 御菌総合支所2-1会議室	
3.25	委員会	平成26年度事業（見込）及び決算（見込）報告 平成27年度事業計画（案）及び予算（案） 場 所 市役所本館4-5会議室	

随時	企業啓発	【実施企業】 横浜ゴム株式会社三重工場、 株式会社夫婦岩パラダイス、 株式会社森組、株式会社伊勢安土桃山文化村、 イセト株式会社伊勢支社、 株式会社イレクト伊勢、株式会社リブネット、 CSGコンサルタント株式会社、 株式会社赤福本店、 株式会社マサグループ本店、 イオンタウン伊勢ララパーク、イオン伊勢店、 株式会社ぎゅーとら本店、 伊勢みそのショッピングセンター、 生鮮市場ベリー小俣店、 株式会社バローミタス伊勢店、 株式会社バローホームセンターミタス伊勢店、 プライスカット伊勢二見店	前年8社から 18社へ
随時	人権啓発冊子 発行	人権ハンドブック No.16 「ヘイトスピーチ」	1,000部作成
随時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	1,000袋作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広報啓発事業	内容	備考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	毎月掲載
地域人権啓発紙の編集	市民館・教育集会所・児童センター等が作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマに取り上げたり施設の活動状況を報告したりして、地域の方々に人権について考えていただく機会とした。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレットの作成及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用マグネットバーと合わせて、街頭啓発、関係機関窓口、講演会等で配布した。	パンフレット 2,600枚 マグネットバー 3,000本
人権啓発パンフレット等の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権問題13項目を簡潔にまとめた啓発用パンフレットを作成した。	パンフレット 3,300枚
人権を考える市民の集い	弁護士菊地幸夫さんを講師に迎え、「出会いの人生から学んだこと」をテーマに講演会を開催した。	いせトピア 多目的ホール 参加者 400名

人権リーフレットの作成	「人権を考える市民の集い」、「人権講演会」の内容に沿った人権をテーマにしたリーフレットvol. 19、20を発行した。	リーフレット 各 1,300部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	市役所本館1階市民ホール及び各総合支所にて人権パネル展を開催。 本庁及び小俣総合支所において懸垂幕を掲出。 市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	パネルは既存のものを使用
いせ人権フェスタ	幅広い年齢層の一般市民が親しみやすくかつ参加しやすい要素を取り入れながら、各種人権啓発事業を総合的・一体的に実施し、人権の意義やその重要性に関する正しい理解を深める機会を提供するフェスティバルを、2月14日に開催した。	いせトピア 全館 参加者 1,300名

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行っている。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣 保 館 運 営 事 業 費	31,480,309 円	30,196,500 円	22,647,000 円	8,833,309 円

2 事業内容

館 別 事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人 権 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	職 業 相 談	2	2	3	3	0	0	5	5
	教 育 相 談	0	0	1	1	0	0	1	1
	福 祉 相 談	2	2	3	3	5	5	10	10
	生 活 相 談	2	2	1	1	7	7	10	10
	健 康 相 談	0	0	0	0	1	1	1	1
	そ の 他 相 談	0	0	3	3	0	0	3	3
講 座	福 祉 介 護 講 座	4	75	—	—	4	86	8	161
	成 人 学 習 講 座	7	195	—	—	6	222	13	417

3 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
一之木4丁目 地内	一之木集会所 下水道接続工事	管きょ工 L=29.5m ます工 N=7か所	円 680,400	26.12.9	27.1.19

(注) 下水道建設課施行

○ 非核平和推進関係

1 非核・平和第36回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、平成26年8月16日・17日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第36回空襲展実行委員会の一員として、空襲展を開催した。

当課の企画として、折り鶴コーナーを企画し実施した。

主な催し物・・・映画上映、平和紙芝居、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、戦時中の生活用品など

2 原爆被災ポスター展

非核・平和第36回空襲展を前に、原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月22日から8月1日まで市役所本館1階市民ホールと二見総合支所で、8月2日から8月12日まで小俣総合支所と御菌総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

学校教育課を通じて市内各市立中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。(12校×1,200枚)

また、原爆被災ポスター展、非核・平和第36回空襲展の折り鶴コーナーでも活用してもらった。

4 日本非核宣言自治体協議会

非人道的核兵器の使用は人類と地球の破滅につながる恐れがあり、住民の生命と生活を守ることは自治体の責務であるとの考えから、全国・全世界に核兵器廃絶、恒久平和を呼びかけるほか、平和の尊さを訴えている日本非核宣言自治体協議会の趣旨に賛同し加盟している。協議会は、核実験を行う諸国への抗議行動や地雷廃絶キャンペーン等を行っているが、当課としても協調し啓発活動を行った。

(非核宣言自治体総数 1,587 自治体、うち協議会会員自治体数 307 自治体：平成27年3月現在)

○ 人権学習関係

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題としてその解決に向えるよう広報啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会の組織化

小学校区を単位として、人権教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めている。

市内 22 の協議会は各町の自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、小学校長などが委員となり、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。3 月には全協議会代表者の参加による交流会を行なった。

2 第 9 回伊勢市人権を考える市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、平成 26 年 7 月 30 日、菊地幸夫さん（弁護士）を講師に招き、「出会いの人生から学んだこと」をテーマに、いせトピアで講演会を開催した。400 人の参加を得た。

3 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、平成 26 年 12 月 10 日、井筒和幸さん（映画監督）中野涼子さん（DJ・司会者）を講師に招き、「愛・平和・パッチギ！」をテーマに、いせトピアでトークショーを開催し、270 人の参加を得た。

4 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般若年～壮年層（50 歳未満）を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身に付けた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として 4 回の講座を開催した。4 回で延べ 137 人の参加があった。各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場所	テーマ	講師	参加人数
第 1 回	26. 8. 24	いせトピア	子どもの人権	園田 雅春さん	37 人
第 2 回	26. 10. 5	いせトピア	インターネットと人権	松岡 清貴さん	42
第 3 回	26. 12. 21	いせトピア	多文化共生	田村 太郎さん	28
第 4 回	27. 1. 25	いせトピア	同和問題	清原 隆宣さん	30

環 境 課

○ 環境全般

1 第2期伊勢市環境基本計画

環境に関わる各計画の最上位計画にあたる「伊勢市環境基本計画」について、平成27年度を初年度とする計画の策定にあたり、伊勢市環境審議会から答申を受け、平成27年3月に「第2期伊勢市環境基本計画」を策定した。

当該計画は、第1期計画で定めた「伊勢市の環境のめざす姿」、「基本方針」、「基本目標」を長期的な視点からみた理念として引き継ぎ、環境分野における施策及び事業の推進指針を示すものとして策定した。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者9人

学識経験を有する者4人

その他市長が必要と認める者4人

会 長：朴恵淑（三重大学理事・副学長）

副会長：深草正博（皇學館大学教育学部長）

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。全庁的に取り組む施策と、本庁・各総合支所にて取り組む事務活動に大別し、事務活動については、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目について削減に取り組み、グループウェア掲示板において取り組み実績を周知し、意識啓発に努めた。

すべての項目において、前年度の実績値より削減することができたものの、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量の3項目については、目標とした削減量を達成できなかった。

また、夏季の節電については、昨年度に引き続きクールビズを前後1か月間延長するなど重点的に取り組んだ。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）伊勢市環境会議

自然環境や生活環境等について、各主体が知恵を提供し合い、伊勢市の環境保全・向上を目指した取り組みを行った。

【実施事業】

実施日	実施事業名	概要	備考
26. 5. 24	伊勢市駅前ごみゼロ 早朝清掃	5月30日の「ごみゼロの日」にちなんで市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高め、ごみゼロ活動を実践するきっかけとするため実施した。	参加者 約 450人 可燃ごみ 470kg 不燃ごみ 40kg

26. 6. 12 26. 11. 7 27. 3. 4	勢田川浄化実験事業	勢田川の浄化を目的に、微生物資材をヘドロに投入し、ヘドロ浄化効果を経過観察した。	参加者 有緝小学校3年生 各95人
26. 6. 18 26. 6. 20 26. 7. 8 26. 7. 9 26. 11. 25	環境出前講座 (園児対象)	環境意識の啓発のため、会員が講師となり、保育所・幼稚園の園児を対象に紙芝居を用いて、幼い子どもたちに楽しみながら環境について興味を持っていただけるよう出前講座を実施した。	参加者 御菌第一保育園園児38人 大世古保育所 園児66人 保護者66人 ゆりかご園 園児26人 五峰保育園 園児14人 明野幼稚園 園児60人
26. 6. 20	環境出前講座 (中学生対象)	環境意識の啓発のため、会員が講師となり、中学校へ出向いて講義等をする環境出前講座を実施した。 【テーマ】海の環境保全	参加者 北浜中学校全校生徒 150人
26. 6. 24 26. 11. 18	環境出前講座 (小学生対象)	環境意識の啓発のため、会員が講師となり、小学校へ出向いて講義等をする環境出前講座を実施した。 【テーマ】 水生生物による水質調査 (城田小学校) 勢田川について、ごみのゆくえ (明倫小学校)	参加者 城田小学校4年生70人 明倫小学校4年生70人
26. 7. 1 ～ 7. 31	百五銀行ロビー展示	百五銀行伊勢支店のロビーにおいて活動の展示を実施した。	
26. 7. 6	勢田川七夕大そうじ	勢田川の浄化と、河川美化の意識啓発のため、勢田川清掃を実施した。	参加者 約3,000人
26. 7. 23 27. 3. 3	エコ・クッキング教室	東邦ガス株式会社にご協力いただき、生ごみを出さない、または、汚れた生活排水を流さない調理方法について実習した。	参加者 26. 7. 23 22人 27. 3. 3 24人
26. 8. 5	水生生物による水質調査	水環境に親しむきっかけづくり及び水質浄化意識の啓発のため、小学校児童らと水生生物の生息状況により、水質を調べた。	市内小学校児童 参加人数 5人
26. 9. 16	ごみゼロポスターコンクール	家庭でごみ問題について話し合いきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行い、受賞者を決定した。	応募総数 951作品 受賞者 計66人

26.12.7	みえ環境フェア	県内の環境団体との情報交換や環境意識の啓発のため、アクリルたわしづくりの体験ブースと活動写真展示の出展をした。 場所：メッセウイング・みえ 主催：三重県地球温暖化防止活動推進センター主催	来場者 約3,000人
---------	---------	---	-------------

(2) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成20年7月11日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、市内小学校において昆虫を活用した環境に関する理科の出前講座を実施し、また、平成26年8月3日に、いせトピアで開催された「子どもわくわく体験フェスティバル」において昆虫を活用したブースを出展いただいた。平成26年11月26日には今年度の連携と平成27年度以降の連携についての意見交換会を行った。

【出前講座実績】

小学3年生対象（6月～7月実施） 6校12クラス
小学6年生対象（9月実施） 1校2クラス

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 太陽光発電普及促進事業

太陽光発電システムの普及促進のため、設置者に対して補助を行った。（60千円/件）

なお、平成26年度分として179件の申請を受け付けたが、年度内に完了しなかった20件については、繰越し対応とした。

	補助金額	交付件数	交付額
平成25年度からの繰越分	円/件 60,000	件 41	円 2,460,000
平成26年度事業	60,000	159	9,540,000
計	—	200	12,000,000

	補助金額	交付件数	繰越額
平成27年度への繰越分	円/件 60,000	件 20	円 1,200,000

2 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、JAFと連携し講習会を開催した。

職員対象・・・	平成 26 年 8 月 27 日（水）	15 人
	平成 26 年 12 月 3 日（水）	15 人
市民対象・・・	平成 26 年 7 月 11 日（金）	10 人
	平成 26 年 10 月 8 日（水）	8 人

3 エネルギー教育

(1) 事業者におけるエネルギー教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、ノウハウが蓄積されていることから、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、平成 23 年 9 月 30 日、京セラ株式会社三重伊勢工場及び中部電力株式会社と環境教育に関する協定書を締結しており、市内の小中学校向けに環境出前講座を実施していただくなど、ご協力をいただいた。

【出前授業実績】

- ・京セラ株式会社三重伊勢工場（8 校、453 人）
- ・中部電力株式会社（2 校、46 人）

また、平成 27 年 1 月 26 日に株式会社第三銀行とも協定書を締結し、平成 27 年度から環境出前講座の実施等に協力いただくこととなった。

(2) エネルギー教育促進事業

市内の小中学校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、エネルギー教育に要する経費を上限 2 万円で支援を行った。（グリーンカーテン設置や出前講座実施など、34 校を支援）

4 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の取り組み

多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「低炭素で豊かに暮らせる伊勢」を創造することを目的として、三重県が取り組む「地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業」の採択を受け、平成 24 年 8 月に、三重県と共同で「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」（以下「協議会」という。）を設立した。

本協議会は、行政、事業者、市民等の様々な参画者が将来像や目標を共有しながら、参画者自らが主体となり、市民だけでなく、伊勢市を訪れる人にとっても便利に移動できる低炭素社会の実現に向けて取り組むこととしている。その低炭素社会の創造に向けた取組を着実に進めていくため、平成 25 年 3 月に行動計画「おかげさま A c t i o n !」を策定し、啓発活動等に取り組んでいる。

(1) 小型 E V の観光モニターツアー

公共交通機関等で伊勢を訪れる方が環境負荷の少ない電気自動車等を活用して市内を周遊していただく手段を検討するため、一般参加者を募り、協議会が策定した「小型 E V で周る観光ドライブコース」を巡る観光モニターツアーを 7 回（参加者 35 名）実施した。

(2) エコスタンプラリー

ア おかげさまAction!エコスタンプラリー

観光客等が電気自動車等で観光できる環境づくりを進めるため、電気自動車等や三重交通株式会社が導入したピカチュウ電気バス等を利用して市内を周遊するスタンプラリーを実施した。

また、スタンプラリーの実施に併せて、より多くの方に電気自動車を体験いただくため、電気自動車（アイ・ミーブ1台、コムス4台）の無料貸出を実施した。

実施期間・・・平成27年1月5日（月）～2月28日（土）

スタンプ設置場所・・・二見浦観光案内所、二見プラザ、伊勢・安土桃山文化村
伊勢河崎商人館、内宮前切符売場、斎宮歴史博物館

電気自動車貸出件数・・・14件

イ 電気バス導入1周年記念スタンプラリー

平成26年3月31日から運行を開始した電気バスの運行開始一周年を機に、電気自動車の普及啓発及び環境啓発を目的として、スタンプラリーを開催した。

○オープニングイベント

ピカチュウ（オス、メス）写真撮影会を開催し、スタンプラリー開催周知等を実施した。

日時：平成27年3月21日（土） 10：30～11：00、11：50～12：50

場所：外宮前バス停前広場

○スタンプラリー

電気バスにご乗車いただいた方に記念乗車証兼スタンプカードを交付し、環境パネルが展示されたスタンプ設置場所を周遊しながら環境学習いただいた。

期間：平成27年3月21日（土）～29日（日）

スタンプ設置場所及び展示内容

- ・内宮前バス停（きっぷ売場）・・・「伊勢神宮とエコ」
- ・五十鈴塾・・・「夏を涼しく過ごそう～今年の夏は、昔の人の知恵で乗り切ろう～」
- ・伊勢市駅・宇治山田駅観光案内所・・・「ピカチュウ電気バス」

(3) お伊勢さん周遊マップの作成

おかげさまAction!エコスタンプラリーの実施に併せて、「小型EVで周る観光ドライブコース」やピカチュウ電気バスの時刻表、市内における電気自動車等用充電器設置箇所を掲載した通年で利用できる観光マップを作成した。

(4) ニュースレターの発行

協議会の取組み、電気自動車等のメリット及び便利な使い方等の情報をより多くの方に発信するため、協議会参画者である自動車メーカーの協力を得て、ニュースレターを発行した。

(5) 啓発活動

市内等で開催されるイベントにて、電気自動車等の展示（給電デモ等）及び試乗会を行い、電

気自動車等の普及啓発を行った。

実施日	事業名	概要	備考
26. 4. 19	平成 26 年「県民の日」記念事業	展示	来場者約 3,000 人
26. 4. 27	アースデイ伊勢 2014	展示・試乗会	
26. 5. 3	第 21 回ヨコハマふれ愛まつり 2014	展示・試乗会	来場者約 7,000 人
26. 5. 10 26. 5. 11	第 30 回伊勢楽市	展示・試乗会	来場者 5. 10 約 30,000 人 5. 11 約 30,000 人
26. 5. 27	伊勢商工会議所会員向けの電気自動車等の試乗会	試乗会	13 事業所 参加者 21 人
26. 6. 2	神社本庁 A R C 伊勢会議「自然環境シンポジウム」	チラシ配付	配付数 120 部
26. 6. 7	電気バス 1 万人乗車記念セレモニー	記念品の贈呈	
26. 6. 16	高柳商店街夜店（環境の日）	パネル・チラシ配付	
26. 6. 16	県地方自治研究センター（市長講演会）	市長より協議会の取組について説明	
26. 7. 1	夫婦岩パラダイス急速充電器開設セレモニー	日産リーフ充電デモ展示	
26. 7. 13	進修地区防災訓練	電源活用デモ	参加者約 250 人
26. 7. 17	ピカチュウ電気バスへの地元製エコタイヤの寄贈式	寄贈式典	横浜ゴム(株) 三重交通(株)
26. 8. 26	朝熊山試乗会	展示・試乗会	
26. 9. 23	みえ交通安全・環境フェスタ	展示・試乗会	来場者約 1,000 人
26. 11. 1 26. 11. 2	第 31 回伊勢楽市	展示・試乗会	来場者 11. 1 約 15,000 人 11. 2 約 35,000 人
26. 11. 2	東大淀地区防災訓練	電源活用デモ	参加者 258 人
26. 11. 29	もったいないフェア	展示・試乗会	来場者約 2,000 人
26. 11. 29	大湊・神社・御菌地区津波避難訓練	電源活用デモ	参加者 288 人
26. 11. 30	エコドライブチャレンジバトル	展示・試乗会	
26. 12. 7	お伊勢さんマラソン	日産リーフによる伴走	
26. 12. 7	みえ環境フェア 2014	展示	
26. 1. 5 ～ 2. 28	おかげさま Action! エコスタンプラリー	スタンプラリー	E V 貸出 14 件 アンケート 369 件
27. 2. 7	佐八地区防災訓練	電源活用デモ	参加者 120 人
27. 2. 15	市町対抗駅伝	超小型モビリティ N T N による伴走・展示	
27. 2. 22	すてきな住まい大感謝祭	なかむら建設による E V 展示	
27. 3. 13	伊勢かぐらばリゾート千の杜充電器供用開始式	充電器供用開始の P R	
27. 3. 21 ～ 3. 29	ピカチュウ電気バス導入 1 周年記念スタンプラリー	ピカチュウとの写真撮影会・スタンプラリー	写真撮影 90 組 乗車人数約 2,000 人

○ 生活排水対策の推進

1 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 浄化槽設置整備事業補助金

生活排水対策を目的として合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。下水道認可区域外においては、合併処理浄化槽設置を一層促進するため、平成 25 年度から、配管費用、単独処理浄化槽の撤去費用の補助を必要に応じて上乗せしている。下水道事業認可区域内においては、市単独補助を行っている。

【下水道認可区域外】

浄化槽設置（新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換）補助の人槽別内訳

区分 人槽	新築			単独処理浄化槽・くみ取りからの転換			合計	
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	交付 基数	交付 額計
5	千円/件 168	基 110	千円 18,480	千円/件 332	基 35	千円 11,620	基 145	千円 30,100
7	207	58	12,006	414	43	17,802	101	29,808
10-50	276	3	828	548	2	1,096	5	1,924
合計	-	171	31,314	-	80	30,518	251	61,832

単独処理浄化槽・くみ取りからの転換（80 基）のうち、配管、単独処理浄化槽撤去費用補助の内訳

区分	単独浄化槽・くみ取りからの転換		
補助区分	補助金限度額	交付基数	交付額計
配管	千円/件 60	件 80	千円 4,800
単独処理浄化槽 の撤去	90	47	4,230
合計	-	-	9,030

※単独処理浄化槽の撤去 47 件は配管と併せて補助

【下水道認可区域内】

浄化槽設置補助の人槽別内訳

区分	新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換		
人槽	補助金限度額	交付基数	交付額計
5	千円/件 110	基 23	千円 2,530
7	138	9	1,242
10	182	1	182
合計	-	33	3,954

※下水道認可区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び 11 人槽以上の浄化槽は補助対象外

(2) 共同汚水処理施設修繕工事補助金

共同汚水処理施設の適正な維持管理を図るため、修繕工事を実施した団体に対し、補助を行った。

平成 26 年度 補助件数：4 件 補助金額：2,968,560 円

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、三重県環境生活部により厚生中学校に設置（昭和 63 年 3 月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行っている調査結果を、伊勢市のホームページにて周知を行った。また、PM2.5 の注意喚起情報が三重県より発信された際は伊勢市のホームページにて注意喚起を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁状態を把握するため、水質調査を実施した。

(1) 調査実施状況

区分	河川水質	海域水質	幹線排水路水質
地点	29	7	5
項目	19	7	19
回数	2～12	4	2～4

※河川水質は 12 河川、幹線排水路水質は 4 幹線を対象とした。

(2) 河川 BOD 経年変化

年 度	21	22	23	24	25	26	環境基準
宇治橋（五十鈴川）	mg/ℓ 0.5	mg/ℓ 0.5	mg/ℓ ▲1.6	mg/ℓ 0.9	mg/ℓ ▲1.6	mg/ℓ ▲1.7	1 mg/ℓ 以下
堀割橋（五十鈴川）	0.8	0.6	1.7	1.3	1.6	1.0	2 mg/ℓ 以下
勢田大橋（勢田川）	2.9	3.1	3.6	5.0	▲6.8	▲7.4	5 mg/ℓ 以下
度会橋（宮川）	0.5	0.7	0.5	▲1.1	▲1.6	▲1.6	1 mg/ℓ 以下
大野橋（外城田川）	1.4	2.0	2.2	2.1	2.6	▲4.5	3 mg/ℓ 以下
豊浜橋（外城田川）	1.4	1.4	2.7	3.1	1.8	2.5	5 mg/ℓ 以下
有滝橋（江川）	0.6	0.6	1.9	1.7	1.2	1.3	—
大堀川橋（大堀川）	1.3	1.2	2.1	1.8	2.2	4.7	—
野垣外橋（汁谷川）	1.1	1.4	1.7	1.9	1.3	1.7	—
鮫川（上流）	—	21.2	13.0	29.0	7.8	2.0	—
鮫川（下流）	—	21.4	4.8	10.0	4.0	2.0	—

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は 75% 値

(3) 海域COD経年変化

年 度	21	22	23	24	25	26	環境基準
東 大 淀 沖	mg/ℓ 1.2	mg/ℓ 1.9	mg/ℓ 0.7	mg/ℓ 0.6	mg/ℓ 0.5	mg/ℓ 0.9	2 mg/ℓ 以下
村 松 沖	1.3	1.6	0.7	0.6	0.6	1.2	3 mg/ℓ 以下
豊 北 漁 港	1.4	1.7	0.5 未満	0.6	0.5 未満	0.9	3 mg/ℓ 以下
大 湊 沖	1.6	1.3	0.5 未満	0.6	0.5 未満	1.1	3 mg/ℓ 以下
宇 治 山 田 港	1.1	1.6	0.5 未満	0.6	0.5 未満	0.8	3 mg/ℓ 以下
宇 治 山 田 港 沖	1.0	1.8	0.5 未満	0.7	0.5 未満	0.8	3 mg/ℓ 以下
笹 笛 川 地 先	1.5	1.6	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.8	3 mg/ℓ 以下

(注) 数値は75%値

3 騒音・振動調査

(1) 環境騒音・道路交通振動調査

伊勢市内における騒音及び振動の現状を把握し、環境の保全を図るため、環境騒音・道路交通振動の測定を実施した。

【調査実施状況】

区分	一般環境騒音	道路交通騒音	道路交通振動
地点数	1	3	1
基準適合地点	1/1	3/3	1/1

(2) 自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、伊勢市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施した。

環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況の把握を行い、今後の総合的な道路環境の各種施策へ反映を図る資料とする。

【騒音調査結果】

路線名	測定地点	時間区分	等価騒音レベル (dB)	環境基準 (dB)
県道豊北港小俣線	小俣町元町	昼間	68	70
		夜間	61	65
県道大湊宮町停車場線	御菌町長屋	昼間	68	70
		夜間	61	65
県道大湊宮町停車場線	御菌町高向	昼間	66	70
		夜間	57	65

4 悪臭

市内特定地点における悪臭の現状を把握し、公害防止を図るため臭気測定を実施した。

平成 26 年度は 1 か所 4 地点を各 2 回測定した。臭気指数はすべて 10 未満であり、参考基準値の臭気指数 15 を下回った結果になった。

5 公害苦情等処理状況

典型 7 公害の苦情処理件数は、大気汚染 15 件、水質汚濁 1 件、土壌汚染 1 件、騒音 7 件、悪臭 4 件、合計 28 件であった。

その他の苦情処理件数は、草刈り 69 件、樹木剪定 26 件、動物（犬猫等）37 件、空き家 29 件、その他 11 件、合計 172 件であった。

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する各種届出受理業務を行った。

【特定施設に関する設置等の届出】

区分		設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法		件 0	件 3
水質汚濁防止法		7	8
騒音規制法		2	0
振動規制法		1	0
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	3	1
	粉じん	0	0
	騒音	2	0
	振動	1	0
	揚水設備	1	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		17	12

【特定建設作業に関する届出】

区 分	法律	条例
騒 音	件 15	件 11
振 動	18	5
計	33	16

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を図るため、公共施設等の煙霧消毒（動力 2 兼機 8 台保有）を行った（実施件数 8 件）。

また、希望する一般市民にハチ防護服貸出を行った（実施件数 74 件）。

2 伊勢公衆浴場組合に対する支援

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合への支援策として、集客用の物品支援を行った。(支援先：8公衆浴場)

実施日	物品	金額
26. 5. 8	トイレットペーパー 600 個 ボックスティッシュ 880 個	円 72,288
26. 6. 14	トイレットペーパー 600 個 ボックスティッシュ 880 個	75,104
27. 2. 19	トイレットペーパー 480 個 ボックスティッシュ 750 個	62,383
計	—	209,775

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市が管理する大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、管理を行った。

(1) 業務委託

業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市営 大世古墓地	伊勢市営墓地 管理業務委託	墓地管理	円 160,457	26. 4. 1	27. 3. 31
大世古3丁目 地内	市営大世古墓地 除草業務委託	空き区画および 通路の除草	500,000	26. 4. 1	27. 3. 31
伊勢市営 大湊墓地	伊勢市営墓地 管理業務委託	墓地管理	432,000	26. 4. 1	27. 3. 31
伊勢市営 小俣若山墓地 及び納骨堂	伊勢市営 小俣若山墓地 管理業務委託	墓地管理	430,929	26. 4. 1	27. 3. 31
伊勢市役所 環境課	墓地管理システム 運用保守業務委託	墓地管理システ ムの運用保守	181,440	26. 4. 1	27. 3. 31
計	5件	—	1,704,826	—	—

(2) 賃借業務

墓地管理システム及び駐車場を賃借し、利用者の利便を図った。

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地管理システム賃借料	26. 4. 1~27. 3. 31	円 77,544
墓地駐車場賃借料 (小俣若山墓地)	26. 4. 1~27. 3. 31	240,000
計	—	317,544

(3) 新規貸付区画

平成22年度から新規貸付を開始した大世古墓地を含め、返還された空き区画の有効活用を図った。

墓 地 名	平成 26 年度 貸付区画数	残区画数
大 世 古 墓 地	6	20
大 湊 墓 地	2	36
小 俣 若 山 墓 地	13	0
計	21	56

※残区画数：平成 27 年 3 月末時点

2 墓地整備事業補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓 地 名	事 業 費	補 助 金	摘 要
新 村 墓 地	円 853,200	円 284,000	通路の舗装
明 野 共 同 墓 地	415,800	138,000	焼香場鉄骨塗装
一 誉 坊 墓 地	2,700,000	900,000	山上・参道周辺高木伐採、通路改修
兀 野 墓 地	756,000	252,000	休憩所の解体
灰 之 木 原 墓 地	383,520	127,000	法面伐採、収納庫の改修
川 端 墓 地	108,513	36,000	擁壁の補修・補強
勢 田 川 霊 園 墓 地	679,412	226,000	通路舗装、排水管理設、墓地区画整理
土 路・西 条 共 同 墓 地	736,430	245,000	水汲み場の新設
中久保湯田野組共同墓地	151,200	50,000	建屋基礎撤去復旧
神 社 港 共 同 墓 地	5,283,360	1,761,000	駐車場の開設
五 十 鈴 川 霊 園 墓 地	55,000	18,000	通路陥没補修、排水管設置
天 神・小 町 塚 墓 地	1,062,720	354,000	通路の舗装
村 松 墓 地	1,674,000	558,000	擁壁の整備
荘 墓 地	324,000	108,000	駐車場の舗装整備
前 山 町 墓 地	369,360	123,000	スロープ手摺り、風除け柵、管理道具庫設置
新 高 向 墓 地	0	0	墓地水道の新設 ※取り下げ
計	15,552,515	5,180,000	—

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施している。飼い犬管理システムによる情報管理を行い、平成 27 年 3 月 31 日現在の登録件数は 8,398 頭の登録がある。なお、平成 26 年度の新規登録件数は 513 頭、狂犬病予防注射件数 5,269 頭（うち獣医師等による接種頭数 3,823 頭）であった。

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分	犬 雄	犬 雌	猫 雄	猫 雌	合 計
助成額	3,000 円/件	4,000 円/件	2,500 円/件	3,500 円/件	—
交付件数	104 件	110 件	176 件	280 件	670 件
交付額計	312,000 円	440,000 円	440,000 円	980,000 円	2,172,000 円

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、明和町、玉城町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務を衛生的、効率的に行った。

1 分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	し 尿	斎 場	計	
共 通 経 費	千円 3,014	千円 504	千円 3,518	平等割 10% 加入事務数割 90%
運 営 経 費	197,636	33,020	230,656	実績割 100%
建 設 経 費	20,565	12,951	33,516	平等割 10%、人口割 90%
公 債 費	13,458	—	13,458	元利補給金
合 計	234,673	46,475	281,148	—

2 クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊 勢 市	他町（玉城町・度会町）	計
	t	t	t
4	3,587	906	4,493
5	3,610	1,029	4,639
6	3,713	816	4,529
7	3,650	841	4,491
8	3,322	804	4,126
9	3,537	744	4,281
10	3,776	742	4,518
11	3,583	590	4,173
12	3,900	770	4,670
1	3,015	580	3,595
2	3,407	690	4,097
3	4,229	802	5,031
合計	43,335	9,318	52,653

※端数処理のため、合計値が合わない

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区 分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
伊勢市	48,442 ^t	46,818 ^t	47,183 ^t	43,335 ^t
他町 (玉城町・度会町)	10,507	10,097	11,402	9,318
計	58,949	56,916	58,586	52,653

※端数処理のため、合計値が合わない

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 9 業者、許可車両台数 38 台（本許可車両 27 台、予備車両 11 台）

4 斎場利用状況

区 分	伊勢市	管内他町 (明和町・玉城町・度会町)	管外	計
12 歳以上の者	1,464 ^件	452 ^件	62 ^件	1,978 ^件
12 歳未満の者	2	0	1	3
死 産 児	9	8	3	20
合 計	1,475	460	66	2,001
胞衣汚物				35
霊安室利用				7

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区 分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
伊勢市	1,470 ^件	1,468 ^件	1,479 ^件	1,475 ^件
管内他町 (明和町・玉城町・度会町)	477	479	471	460
管外	83	82	86	66
計	2,030	2,029	2,036	2,001

○ 水道法関係

水源及び水道施設並びにこれらの周辺の清潔保持並びに水の適正かつ合理的な使用を行うために水道法（専用水道、簡易専用水道）、三重県小規模水道条例に基づく施設を設置する事業者に対し、各種届出受理業務を行った。

種 類	設置届	廃止届
水道法（専用水道）に基づく届出	0	0
水道法（簡易専用水道）に基づく届出	1	0
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

広報いせ「めざせ！ごみゼロのまち」コーナー及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」によりごみの分け方・出し方を周知し、また、時期に応じて排出されるごみに着目した記事により適正排出を啓発した。

イ 自治会に対する説明会等の開催

依頼があった自治会等を対象に、ごみの分別や資源化に関する説明会を開催し、地域での分別及び資源化意識の向上を図った。

(2) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア 実施日 平成 26 年 11 月 27 日及び 28 日

イ 分別状況

品目	割合	品目	割合
生ごみ	42.8%	段ボール	1.5%
その他の燃えるごみ	26.8	布・衣類	3.1
雑誌・雑紙類	11.8	プラスチック製容器包装	8.6
新聞・折込チラシ	2.3	ペットボトル	0.2
飲料用紙パック	0.8	不燃ごみ	2.1

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去 5 年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

年 度	22 年度	23 年度	対前年度増減	24 年度	対前年度増減	25 年度	対前年度増減	26 年度	対前年度増減
燃えるごみ	t 42,426	t 42,814	% 0.9	t 43,111	% 0.7	t 42,828	% △0.7	t 43,683	% 2.0
粗大ごみ	1,459	1,466	0.5	1,530	4.4	1,236	△19.2	1,145	△7.4
小 計	43,885	44,280	0.9	44,641	0.8	44,064	△1.3	44,828	1.7
資源物	6,303	6,187	△1.8	6,390	3.3	6,379	△0.2	6,625	3.9
缶・金属類	1,166	1,211	3.9	950	△21.6	836	△12.0	886	6.0
投棄場搬入量	933	967	3.6	646	△33.2	1,200	85.8	921	△23.3
合 計	52,287	52,645	0.7	52,627	△0.0	52,479	△0.3	53,260	1.5

(注1) 対前年度増減 (%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

(注2) 平成24年から「小型家電製品」の排出量を「資源物」として集計。

イ ごみの各平均排出量

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度末人口 (人)	133,527	132,899	132,058	131,289	130,338
各年度末世帯数 (世帯)	53,690	53,812	53,840	54,193	54,333
総ごみ排出量 (t)	52,287	52,645	52,627	52,479	53,260
1日平均排出量 (t/日)	143.25	144.23	144.18	143.77	145.92
1日1人平均排出量 (g/人・日)	1,072.8	1,085.3	1,091.8	1,095.1	1,119.5
1日1世帯平均排出量 (g/世帯・日)	2,668.1	2,680.3	2,678.0	2,653.0	2,685.6

(注) 各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳）を引用。

ウ 処理経費の推移

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
処理経費 円	1,796,480,000	1,517,192,000	1,463,028,000	1,502,252,000	1,403,595,000
ごみ1t当りの 処理経費	34,358	28,819	27,800	28,626	26,354
1人当りの 処理経費	13,454	11,416	11,079	11,442	10,769
1世帯当りの 処理経費	33,460	28,194	27,174	27,720	25,833

(注) 処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値。

(人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。)

(2) 資源物の売却及び委託量並びに売却額

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に埋め立てられたガレキ類及び土砂を中間処理施設へ搬入し、同様に
ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の売却及び委託量その他の推移は、次のとおりであった。(売却及び委託量には、清掃工場への直接持込分も含む。(紙類・布類及び乾電池を除く。))

ア 資源びん

年 度	品目	売却又は 委託量	売却額	売却又は委託先
24 年度	無 色	kg 515,640	円 270,186	東洋カレット (株)
	茶 色	391,260	205,412	東洋カレット (株)
	その他の色	147,000	△95,256	トーエイ (株)
	計	1,053,900	380,342	—
25 年度	無 色	497,970	261,434	東洋カレット (株)
	茶 色	386,490	202,907	東洋カレット (株)
	その他の色	147,070	△82,359	(株) ヤマムラ
	計	1,031,530	381,982	—
26 年度	無 色	480,100	△63,373	東洋カレット (株)
	茶 色	355,690	△325,456	東洋カレット (株)
	その他の色	160,230	△125,460	(株) タカハシ
	計	996,020	△514,289	—
計	無 色	1,493,710	468,247	
	茶 色	1,133,440	82,863	—
	その他の色	454,300	△303,075	
	計	3,081,450	248,035	—

(注) 売却額△表示は、委託単価(逆有償)を示す。

イ 紙類・布類

年 度	品目	売却量	売却額	売 却 先
24 年度	新聞・ 折込チラシ	kg 1,090,770	円 8,096,600	(株) 幸伸 (有) いせ梅田
	雑誌・ 雑紙類	1,271,660	7,154,430	
	段ボール	721,200	4,549,164	
	飲料用 紙パック(注)	24,470	226,841	
	同(200ml)	0	0	
	布・衣類	177,980	300,757	
	計	3,286,080	20,327,792	—

25 年度	新聞・折込チラシ	kg 1,130,560	円 7,120,977	(有) いせ梅田 (株) 幸伸
	雑誌・雑紙類	1,276,160	6,831,010	
	段ボール	755,190	4,725,179	
	飲料用紙パック(注)	24,460	136,812	
	同(200ml)	0	0	
	布・衣類	180,920	200,707	
	計	3,367,290	19,014,685	
26 年度	新聞・折込チラシ	999,970	5,197,610	(株) 幸伸 (有) いせ梅田
	雑誌・雑紙類	1,125,520	4,764,391	
	段ボール	745,890	2,983,560	
	飲料用紙パック(注)	22,940	118,195	
	同(200ml)	0	0	
	布・衣類	179,200	183,765	
	計	3,073,520	13,247,521	
計	新聞・折込チラシ	3,221,300	20,415,187	—
	雑誌・雑紙類	3,673,340	18,749,831	
	段ボール	2,222,280	12,257,903	
	飲料用紙パック(注)	71,870	481,848	
	同(200ml)	0	0	
	布・衣類	538,100	685,229	
	計	9,726,890	52,589,998	

(注) 飲料用紙パックのうち、容量 200ml 以外のもの。

ウ ペットボトル

年 度	売却量	売却額	売 却 先
24 年度	kg 347,740	円 16,510,607	(株) クリントック (株) サン・テス
25 年度	349,957	11,186,078	(株) クリントック (有) 伊藤総合 コンサルタンツ
26 年度	310,360	12,764,800	(有) 伊藤総合 コンサルタンツ (株) クリントック
計	1,008,057	40,461,485	—

エ プラスチック製容器包装

年 度	委託量	委託料	委 託 先
24 年度	kg 942,740	円 461,943	新日鐵住金（株） （有）山川商事
25 年度	933,300	447,984	新日鐵住金（株） （有）山川商事
26 年度	936,660	533,896	（有）山川商事
計	2,812,700	1,443,823	—

オ ガラス・くずびん類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
24 年度	kg 146,260	円 1,764,554	トーエイ（株）
25 年度	142,910	1,715,134	トーエイ（株）
26 年度	163,900	2,023,247	トーエイ（株）
計	453,070	5,502,935	—

（注）ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。

カ 陶磁器類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
24 年度	kg 277,560	円 5,245,884	（株）ヤマムラ
25 年度	268,300	4,930,012	（株）ヤマムラ
26 年度	289,260	5,623,214	（株）ヤマムラ
計	835,120	15,799,110	—

キ 乾電池

年 度	委託量	委託料（参考）	委 託 先
24 年度	t 46	円 3,960,600	野村興産（株）
25 年度	44	3,788,400	野村興産（株）
26 年度	39	3,453,840	野村興産（株）
計	129	11,202,840	—

（注）伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため、委託料は参考値。

ク 蛍光管

年 度	委託量	委託料 (参考)	委 託 先
24 年度	t 29	円 2,557,800	野村興産 (株)
25 年度	28	2,469,600	野村興産 (株)
26 年度	29	2,630,880	野村興産 (株)
計	86	7,658,280	—

(注) 伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため、委託料は参考値。

ケ 小型家電

年 度	売却量	売却額 (参考)	売 却 先
24 年度	t 171	円 897,750	トーエイ (株)
25 年度	180	1,146,262	トーエイ (株)
26 年度	kg 169,630	1,173,376	トヨキン (株) トーエイ (株)
計	520,630	3,217,388	—

(注) 平成 24 年 5 月から缶・金属類の回収においてピックアップ方式により試験的に実施した。

なお、平成 24 年度及び 25 年度については、伊勢広域環境組合から提供を受けた売却量が概数であるため、売却額は参考値。

コ 鏡

年 度	委託量	委託料 (参考)	委 託 先
24 年度	t 2	円 199,500	野村興産 (株)
25 年度	2	199,500	野村興産 (株)
26 年度	3	307,800	野村興産 (株)
計	7	706,800	—

(注) 伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため、委託料は参考値。

サ ガレキ類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
24 年度	t 220.48	円 1,135,987	梅田建設 (有)
25 年度	135.45	715,941	梅田建設 (有)
26 年度	235.28	1,403,127	梅田建設 (有)
計	591.21	3,255,055	—

シ 土砂

年 度	委託量	委託料	委 託 先
24 年度	t 302.39	円 4,889,646	伊勢市清掃（株）
25 年度	300.35	4,872,427	伊勢市清掃（株）
26 年度	490.02	8,097,090	伊勢市清掃（株）
計	1,092.76	17,859,163	—

ス 資源化率の推移

年 度	24 年度	25 年度	26 年度
資源化率	18.47% (19.41)	18.42% (19.20)	18.57%

(注) 資源化率 (%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

市の資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

なお、平成 26 年度から「ガレキ類」及び「土砂」の委託量を資源物量に含めた。(平成 24・25 年度における、これを資源物量に含めた場合の資源化率を括弧書きで示した。)

3 3Rの推進

(1) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行った。

(2) 指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、燃えるごみの指定ごみ袋制を実施した。

ア 種 類 3 種類 (大袋 45ℓ、中袋 30ℓ、小袋 15ℓ) 1 袋 : 10 枚入
高密度ポリエチレン製、半透明

イ 販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売
(平成 27 年 3 月 31 日現在 販売店登録数 291 店舗)

ウ 販売価格 希望小売価格制度にて販売
市の提示する希望小売価格 (大袋 105 円、中袋 74 円、小袋 47 円 : 税別)

エ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額 (2 か年単価契約)	着手	完了
伊 勢 市 内 地	伊勢市指定 ごみ袋納入 業務委託	伊勢市指定ごみ袋 の納入、保管、配送、 受け払い、配送量報 告及び数量管理報 告業務	1 袋 10 枚入 単価 大袋 90 円 × 564,200 袋 中袋 62 円 × 190,150 袋 小袋 39.0 円 × 92,250 袋 66,165,050 円	25.12.18	27. 3.31

(3) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。(以下は過去3年間の推移)

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
24年度	件 85	基 108	円 1,180,000
25年度	93	111	1,404,900
26年度	82	98	1,457,400
計	260	317	4,042,300

(4) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計 81 か所

※資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況 (以下は過去3年間の推移)

年 度	廃食用油回収量
24年度	0 30,165
25年度	27,665
26年度	30,177
計	88,007

(5) エコキャップ推進運動

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がエコキャップ運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課窓口、各支所窓口、市役所環境課窓口、清掃課にエコキャップ回収容器を設置した。(以下は過去3年間の推移)

年度	重さ	個数 (約)	ポリオワクチン
24年度	kg 6,445.0	個 2,694,910	人分 3,222.5
25年度	7,617.8	3,275,654	3,808.9
26年度	8,383.4	3,590,462	4,175.0
計	22,446.2	9,561,026	11,206.4

4 排出環境の整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。(以下は、過

去3年間の推移)

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
24年度	45 件	57 基	5,225,947 円
25年度	53	76	5,967,458
26年度	46	68	6,180,057
計	144	201	17,373,462

(注) 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊勢			小俣			計		
	車数	搬入量	手数料収入	車数	搬入量	手数料収入	車数	搬入量	手数料収入
市民自己搬入分	205 車	83,816 kg	138,660 円	148 車	50,340 kg	147,840 円	353 車	134,156 kg	286,500 円
公共関係搬入分	666	785,658	—	3	880	—	669	786,538	—
計	871	869,474	138,660	151	51,220	147,840	1,022	920,694	286,500

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため下記の事業を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金 額	着 手	完 了
朝熊町地内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 130.82t 瓦類 61.77t 石類 42.69t	円 1,403,127	26. 5. 28	26. 12. 24
朝熊町地内ほか	伊勢市廃棄物投棄場の地下水等水質調査	6か所	993,600	26. 9. 3	27. 2. 26
朝熊町地内	土砂再資源化業務委託	引取量 土砂 490.02t	8,097,090	26. 10. 1	27. 1. 20
計	3件	—	10,493,817	—	—

ウ 工事関係

廃棄物投棄場を適切に運営するため、下記の事業を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町地内	(注) 伊勢廃棄物投棄場ストックヤード修繕工事	ストックヤード修繕一式	円 2,181,600	26. 12. 26	27. 3. 13

(注) 維持課施行

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 171 自治会より推薦された 341 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。(以下は、過去3年間の推移)

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨 励 金 交 付 額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	び ん	
24 年度	団体 163	団体 159	kg 2,809,763	kg 51,665	kg 66,122	kg 2,927,550	本 5,309	円 8,798,300
25 年度	164	157	2,826,125	53,100	69,009	2,948,234	4,680	8,858,540
26 年度	168	155	2,652,750	52,910	68,743	2,774,403	3,502	8,333,540
合計	495	471	8,288,638	157,675	203,874	8,650,187	13,491	25,990,380

(注) 1kg 当たり 3 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。

(説明会開催回数 延べ 16 回、参加人員 延べ 347 人)

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「平成 27 年度版ごみカレンダー」を 65,000 部作成し、広報いせ 3 月 1 日号と同時に全戸に配布した。

(5) 伊勢市環境会議（ごみ関係）

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

平成 26 年度実施事業

実施日	実施事業名	概要	備考
26. 5. 24	伊勢市駅前ごみゼロ 早朝清掃	5 月 30 日の「ごみゼロの日」にちなんで市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高め、ごみゼロ活動を実践するきっかけとするため実施した。	参加者 約 450 人 可燃ごみ 470kg 不燃ごみ 40kg
26. 9. 16	ごみゼロポスター コンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、受賞者を決定した。	受賞者 計 66 名 (応募作品数 951 作品)

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、市内4か所に設置した監視カメラ（移動式）で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

不法投棄物回収実績：テレビ 104 台、冷蔵庫 27 台、洗濯機 16 台、タイヤ 77 本 他

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・指定袋・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事業名	広告媒体	広告掲載数	収入額
じん芥収集車両掲載 広告事業	じん芥収集車両	7	1,116,000 円
指定袋制度運営事業	指定袋	8	660,000
ごみ減量・資源化事業 一般経費	ごみカレンダー	20	600,000
計	—	35	2,376,000

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両 38 台、収集人員 55 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年4回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12月29日、30日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

(1) 収集車両

ア 所管している車両

一般廃棄物の収集を 38 台の車両で行った。

4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワーリフト
2 台	12 台	8 台	5 台	2 台

2 t トラック	1 t トラック	軽 四 ダンプ	軽 四 トラック	計
3 台	1 台	4 台	1 台	38 台

イ 車両の購入

耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。

種 別	台数	金 額
3 t パッカー	4 台	22,977,874 円

ウ 車両の売却

老朽化等により不要となった車両をインターネットオークションに基づき売却を行った。

種 別	金 額	種 別	金 額
2 t パッカー	1,021,100 円	2 t パッカー	1,333,444 円
2 t パッカー	939,412	油圧ショベル	2,650,000
—	—	計	5,943,956

(2) 収集人員

一般廃棄物の収集を 55 名の人員で行った。

職員	嘱託職員	計
54 名	1 名	55 名

(3) 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集運搬業務の一部を民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区及び小俣町地区・二見町地区の資源物収集運搬業務の一部、及び御菌町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務の一部を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区、御菌町地区及び二見町地区）に基づき、旧伊勢市地区の 3 業者、小俣町地区の 2 業者、御菌町地区の 1 業者、二見町地区の 1 業者に委託した。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 区 内	資源物回収袋洗浄等 業務委託	回収袋の洗浄及び補修 業務委託 一式	11,353,573 円 【単価契約】 821 円/人日 事務費 8%	26. 4. 1	27. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集 運搬業務委託 一式	1,231,200	26. 4. 1	27. 3. 31

伊勢市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 (その1) 業務委託	資源物(資源びん、紙・ 布類、プラスチック製 容器包装) 収集運搬業 務委託 一式	円 66,420,000	26. 4. 1	27. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その2) 業務委託	資源物(資源びん、紙・ 布類、ペットボトル) 収集運搬業務委託 一式	66,031,200	26. 4. 1	27. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その3) 業務委託	資源物(プラスチック 製容器包装) 収集運搬 業務委託 一式	37,800,000	26. 4. 1	27. 3. 31
小俣町内 地	一般廃棄物収集運搬 (その4) 業務委託	資源物(プラスチック 製容器包装、紙類、ペ ットボトル) 収集運搬 業務委託 一式	12,636,000	26. 4. 1	27. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その5) 業務委託	資源物(資源びん、布 類、ガラス・くずびん 類、陶磁器類、プラス チック製容器包装回収 袋配置、ペットボトル 回収袋配置) 収集運搬 業務委託 一式	7,335,900	26. 4. 1	27. 3. 31
御菌町内 地	一般廃棄物収集運搬 (その6) 業務委託	燃えるごみ、資源物 (缶・金属類、資源び ん、紙・布類、プラス チック製容器包装、ペ ットボトル、ガラス・ くずびん類、陶磁器類) 収集運搬業務委託 一式	25,752,600	26. 4. 1	27. 3. 31
二見町内 地	一般廃棄物収集運搬 (その7) 業務委託	資源物(資源びん、紙・ 布類、プラスチック製 容器包装、ペットボト ル、ガラス・くずびん 類、陶磁器類) 収集運 搬業務委託 一式	14,058,360	26. 4. 1	27. 3. 31
計	9件	—	242,618,833	—	—

(4) 備品関係

老朽化に伴い、草刈機を更新した。

物品名	数量	金額	購入日
草刈機	台 1	円 37,000	26. 5. 28
刈払機	1	20,800	26. 5. 28
計	2	57,800	—

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、旧伊勢市地区、二見町地区、小俣町地区を収集14コースにて週2回収集した。御菌町については、業務委託により同様に週2回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により年1回、収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量
車	kg	車	kg	車	kg
20,422	26,367,790	248	183,040	20,670	26,550,830

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、995箇所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部115箇所で適時収集を行った。

区分	収集量	区分	収集量
缶・金属類（注）	kg 989,930	布・衣類	kg 179,200
資源びん	1,113,440	ペットボトル	390,640
新聞・折込チラシ	999,970	プラスチック製容器包装	1,177,250
雑誌・雑紙類	1,125,520	ガラス・くずびん類、陶磁器類	512,560
段ボール	745,890	蛍光管	28,750
飲料用紙パック	22,940	計	7,286,090

（注）小型家電製品及び乾電池の収集量を含む。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、平成26年度末現在で19か所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）し、支所での管理のほか、伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	円 8,163,285 【単価契約】 821~1,233円 /人日 事務費8%	26. 4. 1	27. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	1,900,000	26. 4. 1	27. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	26. 4. 1	27. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	26. 4. 1	27. 3. 31
二見町三 津内	二見資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	26. 4. 1	27. 3. 31
前山町 地内	宮本資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び整 理	19,206	26.11. 1	27. 3. 31
計	6件	—	12,182,491	—	—

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として542件、2,095,740円を徴収した。

また、猫等の小動物576体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた54体については、1体につき1,080円の手数料として、58,320円を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
有料収集	件 542	円 2,095,740
小動物の死体	54	58,320
計	596	2,154,060

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災	台風	計
件数	件 5	件 8	件 13

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けているお年寄りや身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を

行うふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 12,160kg)

利用希望者の申請をもとに 8 回の審査会を開催し、14 件の審査の結果 11 件の実施を決定した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう努めた。

平成 26 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	ご み	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 4,366	千円 1,054	千円 5,420	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	286,336	69,124	355,460	実績割 100%
建設経費	148,350	—	148,350	平等割 10% 人口割 90%
公債費	195,524	—	195,524	元利補給金
清掃事業所負担金	2,774.4	—	2,774.4	
計	637,350.4	70,178	707,528.4	